

## 結果の要約

### 1 職業

奈良県の15歳以上就業者数(634,549人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業」が157,585人(15歳以上就業者数の24.8%)と最も多く、次いで「事務従事者」が133,523人(同21.0%)、「販売従事者」が104,837人(同16.5%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が9,506人(19.0%)増、「保安職業従事者」が540人(5.4%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が5,708人(23.6%)減、「販売従事者」が7,215人(6.4%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が40.0%と最も高く、次いで「販売・サービス関係職業」が27.6%、「生産・運輸関係職業」が27.4%、「農林漁業関係職業」が3.2%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が1.4ポイント上昇しているのに対し、「事務・技術・管理関係職業」、「生産・運輸関係職業」がそれぞれ0.7ポイント低下している。また、「農林漁業関係職業」は同率となっている。

「事務・技術・管理関係職業」 = 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」  
「生産・運輸関係職業」 = 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業」  
「販売・サービス関係職業」 = 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」  
「農林漁業関係職業」 = 「農林漁業作業」

### 2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は40.6時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が47.8時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が46.6時間、「管理的職業従事者」が43.5時間などとなっている。平成12年と比べると、すべての職業大分類で減少となっている。特に、「サービス職業従事者」が2.2時間減、「販売従事者」が1.7時間減となっている。

### 3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が141,579組(夫婦数365,050組の38.8%)と最も多く、次いで夫と妻ともに就業者である夫婦が129,708組(同35.5%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業」である夫婦が12,739組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の9.8%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業」、妻が「事務従事者」である夫婦が9,715組(同7.5%)などとなっている。

### 4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は122,919世帯(住宅に住む一般世帯493,228世帯の24.9%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は370,309世帯(同75.1%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が112,754世帯(同22.9%)、「女性のみ」の世帯が92,369世帯(同18.7%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が35,336世帯(同7.2%)となっている。

図1 奈良県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

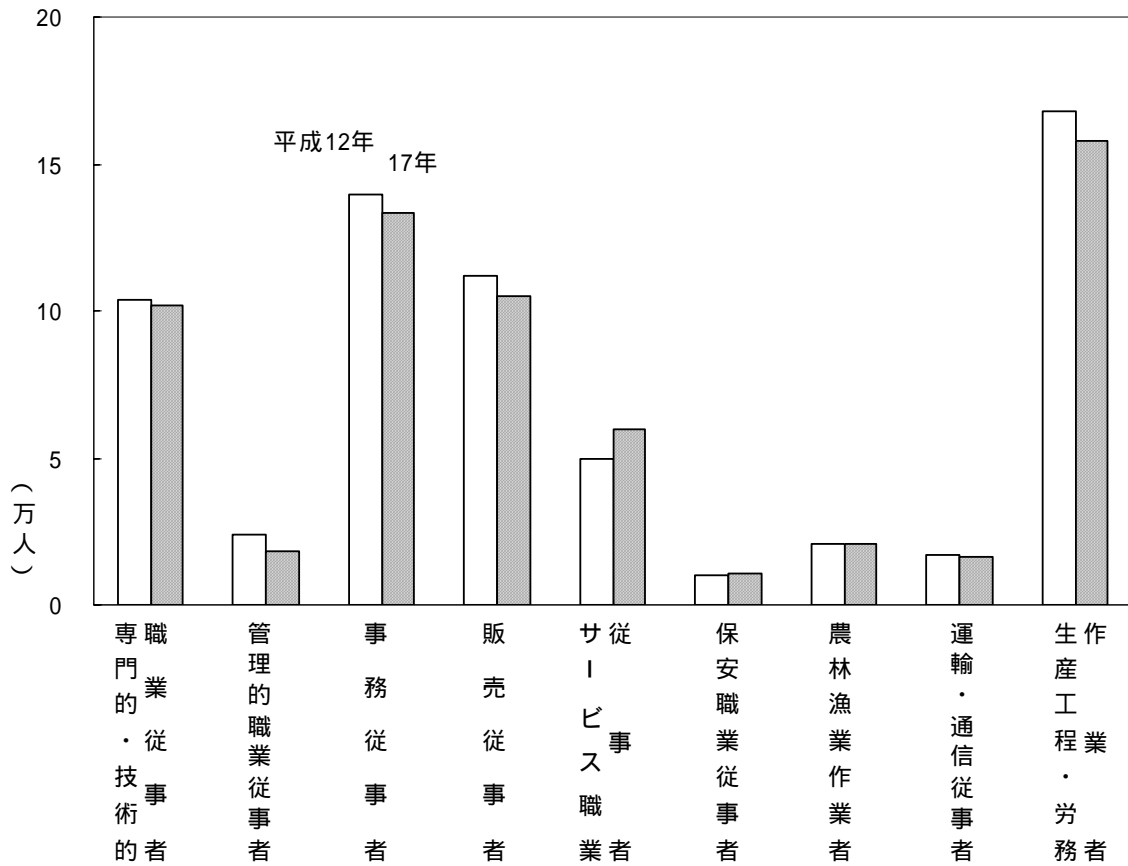


図2 奈良県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

